

平成30年度第2回 名張市地域公共交通連携協議会 議事概要

日時 平成30年10月29日（月）

午後1時30分より

場所 名張市役所 庁議室

出席者：（敬称略）

（1）委員

室谷 芳彦 （美旗地域コミュニティバス運営審議会 会長）
深山 桂右 （深山運送有限会社 名張エフバス営業所 所長）
村山 勝司 （薦原コミュニティバス運営委員会 会長）
福本 房生 （ほっとバス錦運営協議会 会長）
前川 尚三 （緑が丘コミュニティバス運営協議会 会長）
井上 俊次 （国津コミュニティバスあららぎ号運行協議会 会長）
藤永 和生 （赤目まちづくり委員会コミュニティバス推進協議会）
仲 範和 （三重交通株式会社伊賀営業所 所長）
谷本 浩司 （名張市都市整備部 部長）

（2）オブザーバー

伊藤 繁明 （国土交通省中部運輸局三重運輸支局 主席運輸企画専門官）
中平 恭之 （近畿大学工業高等専門学校 准教授）
福田 富彦 （薦原コミュニティバス運営委員会）
滝川 晋 （ほっとバス錦運営協議会）
荻田 吉春 （緑が丘コミュニティバス運営協議会）
津田 大輔 （三重交通株式会社伊賀営業所）
前川 美優 （三重交通株式会社伊賀営業所）

（3）事務局

都市整備部都市計画室3名

1. 開会

2. 議事

（1）平成29年度コミュニティバスの事業評価について

（事務局より概要について説明）

<ナッキー号>

事務局 平成29年度の事業評価について、まず、連携協議会のご意見としまして、乗込み調査における利用者からは双方向の運行やルート変更、土日運行、車両の大型化といった意見も複数あることから、市街地循環型コミュニティバスとしての機能を高める運行形態の変更、車両選定、適切な運賃について検討をいただきたいという意見をいただきました。後の、名張市地域公共交通会議の意見として、ナッキー号については他のコミュニティバスとの連携を考慮しながら、全市的な視点から市街地循環バスとしてのあるべき姿を考えて、利用者のニー

ズを満たすよう再編につき検討を進めていただきたいというご意見をいただきました。それをふまえて、市としましても利用者からの双方向運行やルート変更、土日運行、車両の大型化といった意見が寄せられているところがございますので、市街地循環バスとしての機能を損なわず、より高めるように路線や運賃などの運行形態の見直しを積極的に進めていきたいと考えております。以上です。

会 長 ありがとうございます。対応のところでお聞きしたいのですが、何か具体策は出ていますか。
事務局 現在、事務局の方でルート変更などについて検討を進めております。ルートにつきましては、具体的なところは詰めている最中です。今、三重交通さんのご協力もいただきましてルート変更の素案をお示しして費用が実際どれだけかかるのかというところを見積もっていただいているところです。

会 長 ルート変更の作業に着手をしているということですね。ありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。続きまして、あららぎ号さんよろしく願いいたします。

<あららぎ号>

事務局 まず、連携協議会でのご意見として、運賃収入が減少傾向にあることから、新たな利用者の確保のため、利用促進に取り組んでいただきたいというご意見をいただきました。名張市地域公共交通会議の意見としましては、運賃収入が減少傾向にあることから、新たに利用される方の確保のため、利用促進に取り組んでいただきたい。また、時刻表について利用者のみならず、だれも見やすくわかりやすい時刻表の作成を検討いただきたいということで、地域の方は現在の形態で十分ご理解いただいておりますが、それ以外の方も見やすいようなものを検討いただければといったご意見をいただきました。上記をふまえた対応としまして、利用者の利便性向上のため路線の延長等を検討していくということでお聞かせいただいております。国津郵便局までの路線での延長、つつじが丘バス回転場にあららぎ号の時刻表の設置ということで対応を検討いただいております。

会 長 ありがとうございます。路線の延長は公共交通会議に諮らなければいけませんか。

事務局 諮らなければいけないものになります。

会 長 あまり大きな変更でなければ書面決議でもいいと思います。

事務局 今お聞かせいただいているのは、長瀬地域の方から国津郵便局を越えたところまで路線を延長してほしいという地域からのご要望があるということですが、今後、再度地域と話を詰めさせていただいたり、関係機関の意見を聞かせていただいたうえで手続きを進めさせていただきたいと思っております。

会 長 これはいつごろにするか考えておられますか。

事務局 時期的には事務局として聞かせていただいたのが最近ですのでこれから地域と話を進めたいと思います。

会 長 具体策が固まりましたら公共交通会議に出していただきますようお願いいたします。

事務局 もちろんこちらの会議にもお諮りをさせていただいたうえでとなるかと思っております。

会 長 ご苦労様です。よろしく願いいたします。引き続きましてほっとバス錦さんお願いいたします。

<ほっとバス錦>

委 員 連携協議会のご意見といたしましては、収入面と費用面で若干右肩下がりというかたちで、

いろいろ工夫して利用者の確保や利用促進に取り組んでいただきたいということです。その中で前にもありましたが、車両の小型化やルート変更などを検討してより利用しやすいルートにして新規利用者確保というご意見をいただき、ごもっともでございます。それをふまえて、先ほども話に出ましたがナッキー号など他のバス会社との連携、特に乗継などダイヤを含めた見直しと車両の小型化によってより身近に1人でも多くの方に乗っていただけるように、特に3つの地区につきましてはフリー乗降ができるかどうかということも合わせて検討して1人でも多くの方にさらに利用していただけるようにと思います。今のところ、絶対数乗っていただいている方がいて、最近では女性の方も免許をお持ちの方が多いので、新たに乗ってくれる方がいません。何とか右肩下がりをもとに戻したいところでございます。以上です。

会 長 ありがとうございます。ダイヤ改正で減便するのですか。

委 員 そうではなく、連携できるようにです。また、市立病院まで延長してほしい、ビバホームにも寄ってほしいなどの意見がございますので、我々だけでは決められないので示し合わせて乗り継ぎがしやすいように、全体のことでありますので市が中心となって見直しをお願いしたいと思います。

会 長 具体的に作業には入っているのですか。

委 員 ルートの見直しは内々には決まっていますが、道が少し狭隘になりますので小型のバスを通してできればフリー乗降にしたいと考えております。

会 長 中に入るといいますか。

委 員 国道から村の中に入ります。今はバス停まで距離がありますのでその3地区に乗り入れたら乗っていただけるかと。

会 長 コモコモ号さんは週に2回しかこの場所には行かないというのがあります。そうするとたちまち走っているけど乗らないです。毎日同じコースを通っているというのが大事ですね。経費の問題もあり難しいですが、今後の名張のような体質のところのコミュニティバスの大きな課題かなと思います。

委 員 時間に関しては少し変えるだけである方にとってはすごく便利になりますのでね。アンケートにもありますように、バス停まで時間がかかるという人がその集落では見受けられます。不可能ではないので実現に向けて頑張りたいと思います。

会 長 ありがとうございます。よろしく願いいたします。続きまして、コモコモ号さんよろしく願いします。

<コモコモ号>

オガザン コモコモ号の連携協議会での意見は往復利用が他のバスと比べて少ないということです。公共交通会議でのご意見では不満度が高いということを書かれています。ダイヤ変更についてですが、ナッキー号と近鉄に関してはそれほど待ち時間が無いので乗り継ぎが悪いからコモコモ号に不満があるというより、便を増やしてという意見が圧倒的に多かったです。先程会長がおっしゃったように毎日でも出してほしいのに週に1回だけ、2便だけ出ているようだから片道しか使わないという話ですので、便を増やすことが地域の人にとっては1番いいと思います。先立つものがないので、この後ほっとバス錦さんの車両の小型化の議題

がありますが、小さくして安くなるようであればできるかもしれませんが、三重交通さんにはすでに小さいバスでお願いしているので、もう自分たちで運転するしかないのかなというくらい厳しいですが、当面やろうとしているのは少しでも便利にというので名張駅までの路線延長で途中で買い物できる場所も寄ってということで、今三重交通さんに見積もりやダイヤの検討をお願いしているところです。これがうまくいけば、地域の人にも喜んでもらえるのではないかとこのころです。以上です。

会 長 徐々にいい方向へもっていこうとしていただいているようで、ありがとうございます。続きまして、みどり号さんよろしくお願ひします。

<みどり号>

委 員 連携協議会での意見として、ダイヤ変更をしました。でも、乗継をしてくれませんでした。アンケートをとると「乗り継ぐ」、実際は乗り継がないという状況ですので、ダイヤ変更は無駄だったかなと。今は元に戻しています。後は、新規利用者を取り込んでいただきたいということですが、みどり号はいきいきに停まるのですが、あそこでは健康診断や乳児健診などをやっています。その時に、すずらん台から乗り継いできてくれる人もおりますが、ごくわずかです。利用者の不満度が高いということも書いてますが、ダイヤ変更をしてもだめだということで、不満度が高いのは近鉄プラザが閉店してから調査をしたからだと思います。5か月店が入らなかつた期間6割ほど乗る人が減りました。というのは、6割の客は近鉄プラザの買い物客だったからです。でもなくなったらどうしようもないと、ほかに店を作るわけにもいきません。9月には店が入ってくれましたので平均乗車率6というふうに戻しています。私の意見ですが、上記をふまえた対応として、いろいろ意見を言っていたきましたが、バスの利用者がなぜバスに乗るのかという視点が欠けています。自分たち自身はバスに乗りたくないわけではないと思います。そこに買物をしに行くという用を足すために乗っているということだと、その行き先がより魅力的でなければ乗ってくれないと思います。魅力的な場所にするにはどうすればいいのか。現在はぎゅーとらが入っていますが、近鉄不動産PM事業部というところが誘致などを行っているのですが、そことコンタクトをとってどうするかというのをやっています。ぎゅーとらが来ましたが、スーパーとして馴染みがありません。というのは、私は毎日のようにぎゅーとらに通って調べていますが、名張市内たくさんあるスーパーはたくさんあるので競争が激しいです。店長ともコンタクトを取りどうすればいいのかは検討中です。魅力的な場所が無いとバスには乗りません。乗り継ぎが便利のように時刻変更をしてもお年寄りには非常に乗り継ぎを嫌います。パッと行ってそこで用を足して帰りたいというのがはっきりしました。ですので、今入ってくれたところをいかに魅力的な場所にするかということをお日々考えております。以上です。

会 長 根幹にかかわるポイントを突いていただいて、確かにそうだなと思います。乗らなくてはならないという場合と、乗りたいというのは違ってきますね。

委 員 乗らなくてはならない人というのは病院に行く人です。その人たちはコンスタントに乗ってくれています。

会 長 自治会からの補助金額は去年と比べて上がっていますか。

委 員 去年と同じで20万円です。それ以上は出せないと言われました。1%にも満たない人が乗

っているバスになぜお金を払わないといけないのかというお話です。20万円以上で要求はしていません。

会 長 生活環境に極端に左右されますね。

委 員 うちのバスは買い物客が6割でしたので、9月に来てくれたので良かったですが、1年間何もなければ廃止するしかないと思っていました。

オブザーバー なぜ買い物に行くかというのは、今までは近鉄プラザがあり、2、3階もありお客さんとしてもそれなりにメリットがありました。そこが閉店になりぎゅーとらさんがこの9月に入ってくださいましたが、私はしょっちゅうバスに乗ってお客さんに話を聞きますが、ぎゅーとらさんは商品の品ぞろえ等が以前の店舗とは異なるので、3月に遠のいたお客さんは帰ってきません。閉店した時から自ら対応策を考えておられます。それでこの半年間やってこられたわけですから。ではみどり号として今後どうするかといえば、私はいつも言っているように蔵持のマックスバリュのところに車を付けることができないかいつも思っているし、それが私のライフワークです。なぜかというと、マックスバリュにはスーパー・薬局・100均・書店・ドコモ・焼肉・コインランドリー・ハンバーガーがあり、市役所・警察署が近いです。来春にスイミングスクールがオープンします。そうすると、夏秋赤坂線のあと100メートルの区間さえ道路がつながれば本当に円滑で魅力的なバス路線ができるでしょう。それを協議会だけで検討していてもできないので、名張市の然る部署と折衝してもらって、反対されている方が1人だと伺っているので、それも5、6年ずっと交渉しているので、語弊があるかもしれませんが、強制執行をして1人を生かすか、何人を生かすかという観点から市役所も、せっきやく途中までやろうとしている道路ですので、あと100メートル繋がれば、いろんな意味でこれから開けてくると思うので、その辺をぜひ、この場を借りてお願いをしておきます。

会 長 その部分につきましては、評価とは少し外れていますので、その他の方で再度いろんな意見を賜りたいと思います。続きまして、はたっこ号よろしく申し上げます。

<はたっこ号>

事務局 はたっこ号につきましては、代わりまして事務局の方からご報告をさせていただきます。まず、連携協議会でのご意見としましては、運行経路を2系統としたことにより、新たな利用者の確保につながっている。今後は東西どちらものルートで利便性が保てるように運行ダイヤの調整に取り組んでいただきたいというご意見をいただきました。公共交通会議での意見につきましては、連携協議会でのご意見をふまえ、利用者の確保、利便性向上に努められたいというところであります。上記をふまえた対応としまして、実証運行も1年を経過し、利用頻度の低い便があり運行時刻の変更を行う必要がある。(東コース8便等)これに関してアンケート調査の実施を検討している。また、池の台地区から桔梗が丘駅東口まで約50分かかるため、ルートを再考してほしいという意見もあり、ルート及び時刻表を検討したいということでのご報告をいただいております。

会 長 ありがとうございます。うちのバスですが、池の台から桔梗が丘駅まで歩いて25分くらいですが、バスに乗れば50分かかります。当時それしか新規の東ルートの決め方がなかったもので、とりあえず1年間走ってみて、場合によればルート変更ということも視野に入れて

今検討しているところです。いずれにしても定着はしておりまして、空気だけを乗せて走っているのが非常に少なくなりました。それはなぜかという毎日同じ時間に真っ赤なバスが同じコースを走っているということが大事で、人は目に見えると心が動くということもありますので、それを目途に運行してもらっている業者さんにはかなり無理を申し上げましてお願いをしております。基本的には地域づくり組織からの持ち出しはございません。利益は上がっていますが、300万円の補助金があつての利益です。一般的に言う赤字にはなっていないという結果です。

事業評価ありがとうございました。いろいろなご意見があり、大変なところで毎回この話をさせてもらいますが、ご苦勞様でございます。知恵を絞って汗をかいてやるのが地域を作る我々の原点ですので、もう少しだけ汗をよろしくお願ひします。議事の1つ目を終わらせていただきます。続きまして、平成30年度上半期コミュニティバス運行状況報告及び評価についてお願ひします。

(2) 平成30年度上半期コミュニティバス運行状況報告及び評価について

(事務局より概要について説明)

<ナッキー号>

事務局 利用者につきましては、相対的に見て徐々にではありますが増加傾向にあるのではないかと思います。運賃収入につきましても、一時期落ち込みがあつたものの若干上がってきております。自己評価としましては、利用者の推移を見ますとこの数年間は利用者数は増加の傾向にあります。市街地循環バスとしての機能がある程度果たしているのではないかと考えられます。また、運賃免除の利用者は運用開始以来一貫して増加していることから、身体障害者等の日常の移動手段としても有効に活用されていると考えられます。今後は利用者からの路線変更や双方向運行、車両の大型化を希望する意見や地域からの要望をふまえ、路線や運賃などの運行形態の見直しを進めていくものとします。先ほども申し上げましたが、具体的なルートの変更についてはいろいろと考えているところではありますが、大きなルート変更になるのか、小変更に留まるのかということも現在検討の状況ではありますが、現状のままではいけないというところで、変更をしていきたいと考えております。今後この場でもご紹介をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

会長 今の自己評価をふまえ、皆さんのご意見等も賜りたいと思いますが、1つお聞きします。ルートについて、どの辺が活性化されていてどの辺が減っていますか。偏りがあるかと思いますが。

事務局 上半期の乗降ですと、先ほど話題にもありました近鉄プラザ閉店の影響がありまして、桔梗が丘駅からアピタさんに乗り継ぐ方が今回に限っては増えました。ただ、はたっこ号さんから乗り換えて市内各地に動いていただくという利用も多数見られましたので、駅からナッキー号へというのはある程度ナッキー号についてはあるかなと思います。あとは市立病院も多いです。

会長 協議会としての意見は、そのまま行っていくのがいいかなと思いますが、変えた方がいいというところはあるですか。

事務局 地域から運行の要望があつたりしますが、まずをもつては市街地循環としての機能を損ない

たくないというのがあります。双方向運行が実現すれば大きな変更は見込めるとは思いますが、一方通行ならば大きな変更はできないと考えております。要望の中でも寺田病院は、寺田病院を利用される方からお声がありまして、寺田病院さんからも乗り入れを希望されていますので、そのあたりは変更を含めていきたいと考えております。

会 長 あそこは乗り入れできるのですか。

事務局 バス停を作ると言っていたいております。

会 長 入口が狭いように思います。

事務局 入口と出口がありますが入口は広く開いていますのでバスなら侵入できると思っておりますが、車も多いですし利用者も多いので、当然するとなればそのあたりの安全面も確認したうえでとなるかと思っております。

会 長 市立病院はもちろんですが、寺田病院を利用している人も多いですからね。

事務局 ナッキー号での最寄りのバス停が国道沿いの新夏見橋というバス停が吉野家の道向かいにあります。近辺に歩道がないこと、寺田病院までは若干距離があるので、そういうお声が上がるのかと思います。

会 長 できれば入れてくださればありがたいのはありがたいと思います。そうしましたら、連携協議会の評価としましては、寺田病院に入れてあげてくださいということによろしいでしょうか。

事務局 少し具体的すぎますので、表現をぼやかしていただければと思います。そういう相談をしていただいているという段階です。

委 員 入口が狭いですね。

事務局 今のはこういうところから要望をいただいているという1つのご紹介と考えていただきまして、大事なのは安全の確保など重要な観点でございますので、こちらで協議させていただき、必ず連携協議会でお諮りいたしますので、表現の方は手前どもで考えさせていただきたいと思っております。

会 長 わかりました。そうしましたら、業績も徐々に伸びているようですので安全確保をしていただきまして、運行をお願いしたいと思います。続きまして、あららぎ号さんお願いします。

<あららぎ号>

事務局 あららぎ号に関しましては、去年からのグラフでもございますが、大きく落ち込んでいる年分があります。これに関しては通学でも使用してもらっていた国津小学校が閉校になり数字が落ち込んでいる年分になります。それ以降は一定の利用者がありましたが、本年度の半期では利用者が落ち込んできているようなところではございます。ただ、運賃免除となる方のご利用については昨年度よりも増えているという状況でございます。運賃収入の推移につきましては、運賃免除は去年と今年の2か年でしか集計していないのですが、運賃収入が減免となって少なくなっているところです。運行主体の自己評価としましては、有料利用者の減少が続いているが、本年度は利用者総数も減少となっております。運賃収入の落ち込みにつきましては、介護施設に勤めていた方の利用が無くなったことが理由の1つだと思います。高齢の利用者が自宅まで長い距離を歩く必要があることから一部地域から路線の延長を求める声もあり、路線や停留所の位置の見直しを行ってきたいというところがございます。

会 長 この数字から、運賃収入が危ない状況であるけれども、ここは止めるわけにはいきませんね。

事務局 そうですね。地域住民の方々にとって必要な足であると認識しています。

会 長 何かご意見ございますか。続きまして、ほっとバス錦さんよろしくお願いします。

<ほっとバス錦>

委 員 資料のとおり、利用者数の推移は下がってきております。病院に行くなどどうしてもバスが必要な人の利用も暫時減少を余儀なくされています。特に私どものところは200円～500円の運賃で遠くなるほど高くなりますが、山間部の過疎化が進んでおり実際に乗ってもらっている人の数はやはり減ってきているのかなと危惧しています。バスを利用してでかけるという前向きな利用を増やしていきたいと思います。先ほど申し上げた通りルートの変更等はありませんが、まだはっきりとしたものはありません。何回かに分けてイベントをしたり、地域を上げて利用するなどしていますが、このままではいけないので、なんとかそういうかたちで地域の皆さんに自分たちのバスは自分たちで守るという、年に何回かは乗るということが広く浸透していきませんか、今車に乗っている方はほっとバスはまだ大丈夫と危機感をもっておられないので、もう10年になりますが、今一度初心に戻っていただいて地域のために乗らなければならないことを広く皆さんに啓蒙していかなければならないと思っております。以上です。

会 長 ありがとうございます。実効性のある方策は何かありますか。

委 員 皆さんに意見を聞きますが、あまりありません。前からあるのは地域の方で名張の湯に行ったりしてくれていますが、年に何回かで全体的に見るとあまり…。また、錦生クラブと申しまして老人会さんの会合にも乗ってくれるのもあります。バスを本当に必要として乗っているのが病院に行く人ですが、全体から見ると少ないと思います。

会 長 ずっと下がってきていますよね。

委 員 そうですね。29年度で下げ止まりかと思いましたが、30年度も落ち込んでいます。

会 長 ダイヤは変わっていませんよね。

委 員 変わっていません。聞くところによると乗っている人は週に何回か乗ってくれていますが、その人が入院したり亡くなったりするとたちまち売り上げに影響します。ですので、錦生の中の3地区がバス停まで遠いということもありますので、もう少し家の近くまでバスで行かせてもらってそこではバス停を作らずに手を上げて乗降していただければいいかと考えています。まだ検討中ですが、1人でも多くの方に乗っていただけるようにと思います。

会 長 実効性のある方策を検討していただいているということですね。思いついたが吉日ですので、よろしくお願いします。続きまして、コモコモ号さんお願いします。

<コモコモ号>

オガザル コモコモ号は乗車数の推移は右肩上がりできていて年間でも同じような傾向がありますが、今年度は近鉄プラザの閉店が響いているのかと考えております。したがってこれを何とかしないといけないので、買い物弱者対策として路線を桔梗が丘駅終点から名張駅まで延ばして途中で今言っているマックスバリュにバス停を作れば、多少は戻ってくるかと思っております。先程おっしゃっていたように9月の状況を見るとそれほど戻っていません。ということは何か月か間が空くとその間に自分なりの買い物する場所や時間などの生活パターンが決まった

のではないかと思います。ですから9月にぎゅーとらができたからと言ってなかなか行動パターンは変わらないのかなということで、名張駅まで延長したからと言ってというのがありますが、乗り換えなしで直行できるのであれば乗ってくれるのではないかと思いますので、優先度はそちらが高いです。名張駅までの延長と途中でマックスバリュさんに停まるという方向で三重交通さんにもご協力をいただきたいと思ひますし、場合によっては市内の他の交通事業者さんにもお願いしてやっていかなければならない時期に来ていると考えています。

会 長 確かに落ち込んだまま上がっていないですね。

ワザバー そういう感じですか。

会 長 今言っていた通り何かほかの方策も視野に入れておられるようで、ひどい状況になる前にできるだけ早く手が打てたらと思ひます。コモコモ号の場合はルートの関係もありますので、慎重にさせていただいてよい方向へいくようによろしくお願ひしたいと思ひます。続きまして、みどり号さんよろしくお願ひします。

<みどり号>

委 員 先ほども言ったように6割が買い物客です。その分が5か月間落ち込んでいます。アピタやマックスバリュに誘導しましたが、乗り継いでくれませんでした。5か月間の間平均乗車率が2.6人で9月にぎゅーとらができて6.0人になっています。このまま推移すれば取り戻しはできませんがなんとかなるかと思ひます。1,327人減少しています。グラフですが、去年までは一定数客がいて、28,29年は黒字でした。29年は客が増えて黒字が増え、現在内部留保が18万円ほどあります。コミバスというのは難しいもので、儲けてはいけなと税務署から言われています。この前5年に1回出す書類があり、儲けていると指摘されましたが今年の赤字分をこれで補填したいから堪忍してほしいと言ったら一応納得してくれました。あとはぎゅーとらとセイムスの魅力度を上げて、あそこはまだ2,3階が入っていないので、近鉄不動産の本社の方へこの間行ってきたのですが、まだ決まっていないという話ではやく決めないとあそこは魅力がなくぎゅーとらもあまり入っていないので、すぐ引き上げかもしれないと提言しました。100均などでも元通りしてもらえればもう少し魅力が上がるのではないかと思ひますが、個人の力ではどうしようもないので名張市さんの後押しがいます。交渉先はわかっていますがなかなかうまくいきません。今のところはぎゅーとらとセイムスの店長とコンタクトをとって魅力を発信しています。これはその他の項目でまたあります。名張駅への延長は考えていません。マックスバリュへの乗り入れは何回も交渉しましたがうまくいきません。行ったら道が無いので帰ってこないといけなということ。近鉄プラザが無くなる前にそういった検討をしましたが、お金がかかるのにどれくらい効果があるのかがはっきりしないです。マックスバリュ周辺でバス回転場を作るのが難しく、うまくいかず現在に至っています。名張駅の延長もやってみないとわかりません。以上です。

会 長 ありがとうございます。ぎゅーとらへは家内も行きません。なぜなら裏からしか車を入れられないからです。前は広場がありました。

委 員 広場は一部駐車場になっています。建物は建っていませんが、そこに停めると少し歩かないといけません。

会 長 となるとバス客を集客しないといけないというところへ落とし込んでいかないといけないのかもしれませんが。そうするとバス客を優遇するような商売の仕方を考えてほしいと…。

委 員 そうではなく相互に考えて win-win な関係になるように考えないといけません。

会 長 そうですね。いろいろ考えていただいているということで、ありがとうございます。続きまして、はたっこ号よろしくお願いします。

<はたっこ号>

事務局 はたっこ号につきましては、平成24年の運行以来半期の分は若干落ち込んだりもしましたが29年に新ルートを設定したことにより利用者が増加していること、本年度4月以降の利用者についても若干の減少は見られるもののほぼ横ばいなのがグラフから見て取れると思います。運行主体の自己評価としましては、4月に近鉄プラザが閉館となり、利用者が激減するかと思われたが63名(3%)減で予想よりも利用者の減少は少ない。継続して推移を見ていきたいとご回答いただいております。以上です。

会 長 そういうわけで、皆さんのおかげで新ルートが動き出しましたが、まだ乗車率が定着していないというのが現状です。それが定着していくともう少し上がってくるかというのと、徒歩20分で行けるところがバスだと50分の問題と、いわゆるルートですね。年に1回は見直しを考えております。どうかよろしくお願いいたします。ありがとうございます。皆さんに自己評価をいただいた分、他の委員さんからご意見等ございましたら伺いますのでよろしくお願いいたします。

コモコモ号とみどり号の落ち込みが激しいからどうにかしないといけないですね。

オザバー まずあらざ号さんですが、かなり1日当たりの乗車人数が減ってきているので続けていくとしたら僕はバスである必要は全くないと思います。バスではない別の輸送方法を考えていかないと、バスだとキャパが大きすぎるということもありますので、バスであるなら予約制にするなど乗客が無い便は運行しないなど検討が必要だと思います。乗客が増えれば別ですが、現状だともう少し小さい運行方法にすればフレキシブルにいろいろなところへ動けるはずなので、その方が需要は増えるかもしれないと思います。次に、コモコモ号さんで気になったのが、乗客が減っているのもですが、無償の利用者が極端に減っていることです。これが単に近鉄が無くなって減っているのか、ただ他を見ると無償の乗客は増えています。みどり号さんでも利用者は減っていますが無償の乗客はそれほど減っていません。高齢者の移動ということを考えると、この無償の方が極端に減っているのも、原因を調べた方がいいと思います。本来のターゲットとしている高齢者あるいは交通弱者の方にとっては近鉄プラザさんの後に入ったところも重要なところになっているのではと若干は思います。公共交通だけを考えると、商店の魅力度を上げるというのは基本的には考えません。市としてはまちづくりのところが商店の活性化などをされていると思うので、一度そちらの方に意見を上げていくのがいいかと思います。交通まちづくりとしてされているところもありますが、1つの商店だけでは考えないです。

会 長 今先生がおっしゃったことは、大事なことです。私は美旗ですが、商店があちこちにありますが全く横の連絡が取れていなくて、いわゆる連合会というものがありません。だから団体が物事を起こすというのができません。手前勝手な話ですが美旗は今回商工連合会のよう

なものを立ち上げようとしています。事業体、飲食関係、それと美旗は福祉施設が多いですから、美旗は運賃免除者が多いです。中平先生がおっしゃったようにそのエリアで商売をしている人が団体になってそこが何かあるからパスなどを考えてほしいというようなことがあってもいいと思います。

委員 上半期の乗車数を見ましたら、美旗さん以外はどこも減っていますね。夏が暑かったとか原因があるのでしょうか。みどり号さんは2,900人が1,600人というのは近鉄さんが閉まったからというのはあるのでしょうか、コモコモ号さんでも2,100人が1,500人、錦も3,100人が2,800人、あららぎ号さんもちよっと減っているし、ナッキー号さんはちよっと増えていますね。

オブザーバー ナッキー号は、桔梗が丘駅からずっと満員でした。座れません。だからみどり号、はたっこ号、近鉄から来て従来近鉄プラザで買い物をしていた人が全部ナッキー号に乗ります。私はこの半年間月平均半月バスに乗っています。ずっとみどり号を降りてナッキー号に乗る人の数を数えています、路線別に見ないとわかりませんが、おそらくナッキー号が増えたのは桔梗が丘駅からアピタに行く便が極端に増えていると思います。

委員 近鉄プラザが閉まったのでアピタに流れているということですか。

オブザーバー そうです。あの辺の方はアピタに行っていると思います。

会長 最近アピタにたくさん入っていますね。

オブザーバー ようはあちこち行かなくてもワンストップで買い物ができるという利便性があるのでいいのだと思います。

会長 入ったところのソファに座って1日中テレビを見ている人もいますね。

委員 やっぱり夏の猛暑で出かけるのをやめたりして減ったのかと思いましたが、9月になっても変わりませんでした。

会長 バスを待つ間に倒れてしまいますね。

オブザーバー 本当にあると思います。近鉄プラザにはバスを待つ間に入れる喫茶店がありましたが、今はありません。イトインがありますがお客さんの目の前にあります。一步出れば真冬の寒風吹きすさぶ中凍死しますよ。夏はかんかん照りでかといってしのぐ場所がないので、特に年配のお客さんからは何とかしてという声もあります。

会長 次の項に入る前に、マックスバリュ名張店のヤマダ電機の裏にナッキー号を停めるという話はやはり難しいみたいです。以前からあそこにターミナルを作るという話、私がいろいろなところに聞きました結果、ヤマダ電機へ入っていく桔梗が丘駅側の場所に三角形の300坪くらいの土地があります。あそこは場合によってはいけると思います。元議員さんの持ち物らしいので、話の持っていき方によってはできるのではないかなという感覚です。あそこが使えるのなら道路に停めないで邪魔にはなりません。それと武道交流館から竹藪を抜ける今作っている道ですが、近鉄を抜けるのがとてもネックになっています。ものすごい工事になりますので、20年前から計画している道路で165号線の混雑緩和に黒田からずっと続く道として計画しています。ただ、いろいろな状況があり徐々には進んでいるとは思いますが、近鉄のガード下をくぐるのがかなり障害になっています。仕方がないので粘り強く行くしかないですね。

オブザーバー ガード下の高さを測ってみましたが、みどり号がくぐれる高さでした。ただ、市役所に行く道を右に曲がれるかどうかというのがあります。

会 長 まっすぐ行って蔵持の郵便局から抜けたらどうですか。

オブザーバー そこにコモコモ号、みどり号、はたっこ号、ナッキー号も乗り入れればこの4つは確実にお客さんが増えるし利便性が高くなると思いますので、どうかお願いしたいと思います。

会 長 宿題をいただきました。他に内容でございましたら、次に「錦生地域コミュニティバスほっとバス錦の車両変更について」事務局からお願いします。

(3) 錦生地域コミュニティバス「ほっとバス錦」の車両の更新について

(事務局より資料をもとに説明)

会 長 車いすが載せられないのですか。困りますね。

委 員 実績では10年間で1人くらいです。介助人さんと乗っていただいて折り畳みの車いすなら大丈夫なんですけど、スロープを付けて乗ったままとすると定員が限られます。今後も無いとは言えませんが、実績的に大丈夫かと思います。

会 長 地域ぐるみで輸送協力、介護タクシーを利用しようということですね。

委 員 老人会の会合は過去のペースでいくと仮に全部乗っていただいたら1, 2人オーバーになります。それについては運転できる方に協力していただいて相乗りしてきていただくようなかたちで事前にその地区の老人会の方をお願いしようという思いがあります。また、めったにありませんが錦生赤目小学校の児童さんが社会見学などでたまに乗っているというのは、事前に分かっていたらバスの変更もお願いしようかなというのがあります。ある日突然13人以上の方が乗っていただくときは対応していかないとは思いますが今のところはありせん。

会 長 車高は低床バスと同じくらいですね。足の不自由な人でも乗れますね。

委 員 詳しくは事業者さんをご存知かと思いますが、コミュニティバスにも使える車両が…。

委 員 今までは中型、大型車の法律でしたが平成27年から小型車が主流になってきましたのでそれに対して法律が改正されました。適用除外するだけの設備があれば運行可能ということで今回させていただくかたちになります。

会 長 スペア含めて2台あるのですか。

委 員 一応弊社の方では予備車両としては貸し切り車両でと考えています。

会 長 これは公共交通会議で出さないといけませんね。

事務局 はい。今後の手続きについては、11月29日に道路運送法に基づく公共交通会議を開催する予定で、そちらで諮らせていただく予定でその協議が調ったことを以て運輸局の方へ申請をしていただくという手続きの予定となっております。それに先立ちましてこちらで事前にお示しさせていただきご理解をいただきたく存じます。

会 長 一応そういう説明でございます。これは報告もかねてということになっておりますので皆さんご承知おきくださいということになるかと思っておりますので、よろしく願いいたします。

オブザーバー 参考までに、経費はどれくらい変わりますか。

オブザーバー 経費は変わりません。償却が絡んできますので、それが終われば多少変わりますが、その頃

には修理費などがかかってきます。

オガザバー 僕らも経費を安く、とっていますが結局追加費用が多額になるので今おっしゃったように償却が済んだらその分は安くなるので忽ちは勘弁してほしいということでした。

オガザバー 車両の金額と改装する金額が同じぐらいかかります。

委員 小さくなったので運賃を安く、というのではなく小さくなってより狭隘の道路にも入れるようになったというのみがメリットとしてありまして、費用面のメリットはありません。最初の5年間は過ぎれば見直しにご協力いただきたいとは思いますが。

オガザバー 新しい車両なので乗り心地は良くなると思います。

委員 三重県では少ないようですが、他府県では平成27年からもう3年ほど経っていますので小型化されたコミバスが走っています。

オガザバー 特に愛知県や長野県は多いです。

会長 はい。ありがとうございます。公共交通会議に諮らないといけないのでよろしくお願ひしたいと思います。続きまして、項目4の事業推進部会の取り組み状況について事務局よりよろしくお願ひしたいと思います。

(4) 事業推進部会における取組状況について

ア 行き先別時刻表

イ コミュニティバス停留所に関するガイドライン

(事務局より資料をもとに説明)

会長 絵に描いた餅にならないようにしないといけませんね。バス停の上の丸い表示の例にあるように将来的に統一できたらなという考えですか。

事務局 そうですね。これはあくまでガイドラインですが、これに沿ったかたちでバス停を作成していただくと利用者さんはバス路線が違ったとしても一見して見やすくなるのではないかと思います。

会長 下の部分はそれぞれで違うと思いますが、上の部分は同じ内容になると思うので、市役所で作っていただくのはどうでしょうか。

事務局 上部につきましては載せていただく情報と各コミュニティバスさんでいろいろなマークなどアピールする部分を入れていただければいいと思います。

会長 下部にいろいろ書いてくれていますが、バスに乗る人は字が大きい方が嬉しいので、入りきるかなと思います。

事務局 路線図は難しいところもあると思いますが、例えば路線図というかたちでなくとも系統ごとに停留所名を並べるといったやり方もありますので、路線図とはなっていますが、「運行系統図」ということでどの停留所に停まるということが一見してわかるようなものに置き換えるというのも可能ではないかと思います。

会長 この大型掲示板がいいですね。大きいのを市役所と駅に置いておいて他所から来られた人がわかりやすいですね。他にご質問等ございますか。無いようでしたら次に進みたいと思います。

ウ 名張ケンコー！マイレージポイントの市街地循環型コミュニティバス「ナッキー号」の乗車券

への引き換えについて

(事務局より資料をもとに説明)

会 長 これは市民センターで取り次ぐというのが一番手っ取り早いですか。

事務局 そうですね。やはりナッキー号に乗っていただいている方の中には市役所まで来る負担が大きい方もいると思いますので、地域で申し込みをできるようにと考えています。

会 長 必ず市民センターには来ますからね。ナッキー号は100円だからいいですね。これは地域づくり代表者会議には掛けていませんね。12月に代表者会議があります。これは実施が次年度なら下話程度にして、その次が2月にあります。2月にはしっかりと説明しないとイケませんね。特に市民センターに説明をしないとイケませんね、金券です。

事務局 ただ、そのあたりのご負担が無いように、実際に券を渡すのは市役所からの郵送になりますので、受付のみを市民センターさんをお願いしたいと思います。

会 長 漏れの無いようにきっちりした申請書を作っておかないとイケませんね。ありがとうございました。いい報告で、ナッキー号がますます乗車率が上がっていくと思いますね。何かご意見等ございますか。無いようでしたらその他の項でみどり号さんからご報告がありますので、よろしく願いいたします。

3. その他

(緑が丘コミュニティバス運営協議会 会長より資料をもとに事例紹介)

会 長 このグリーゾーン解消制度はもう動いているのですか。

委 員 動いています。天塩町はここに問い合わせでOKをいただいたので堂々とやっています。

会 長 うちも送迎サービスをしようと思って国交省などに確認をするとすれすれですが何とか…という回答しか返ってきません。だめだとは言いません。難しいところなのでうちはしていませんが。

委 員 ちゃんとした申込書もあるようです。

会 長 ガソリン代と高速代は100%もらうのですか。

委 員 詳しいことはここに書いていないのでわかりません。

会 長 ガソリン代だけだったらだいぶ安いですね。どうやって利益を上げているのですか。

委 員 現在は料金ももらっていないみたいですね。

会 長 何か母体がありそうですね。経費はかかりますよね。

委 員 車はシェアリングですので、空いている車を使います。世の中の動きとしては空いているものを有効活用しようという流れです。自転車は外国や日本国内でもやっていますね。

会 長 将来性のある要望をいただきありがとうございます。みどり号の時刻変更は…。

事務局 みどり号の時刻変更につきましては、ぎゅーとらの開店に伴い元の時刻に戻していただいております。

会 長 はい、ありがとうございました。その他ご質問等ございますか。

事務局 議題の中にもありましたが、ナッキー号の運行見直しについて、公共交通会議の全体会議にも諮らなければイケません。それを1月25日に開催させていただきます。ナッキー号見直しの方向性を議題として挙げていきたいなと考えておりますので、それまでに今一度皆様に

お集まりいただきまして、その方向性について事前にお示しをしたいと考えております。

会 長 ありがとうございます。11月16日にセミナーがあるのですね。

事務局 はい。運輸局さん主体でしていただきますので、よろしければご参加ください。

ワザハル せっかくですのでご説明させていただきます。今回、プログラムの1つ目が定量的評価指標の見方・活用法と難しい言葉で書いてありますが、例えばアンケートや動向調査を我々もするのですが数字の活用をなかなかできていないということも多いのでそれをどうやって活用していけばいいのか内容を説明させていただきます。2つ目は子どもたちを対象としたモビリティ・マネジメントの実施についてですが、明日蔵持小学校でもさせていただきますが、子どもに対しての啓発活動というのがあります。私も7月に日本モビリティ・マネジメント会議に参加しまして、全国的に流行っているということで講演をしてもらおうという趣旨で開催させていただきますのでよろしければご参加いただければと思います。

会 長 わかりました。そうしましたら、一通り議事が終了いたしました。ほかに何かございますか。よろしいでしょうか。そうしましたら、第2回連携協議会を終了いたします。長時間にわたりありがとうございました。